



株式会社シー・エス・ランバー

東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
証券コード 7808

2020年5月期第2四半期決算説明会


2020年1月29日



1. 当社の概要
2. 2020年5月期第2四半期決算概要
3. 2020年5月期業績予想
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. 参考資料

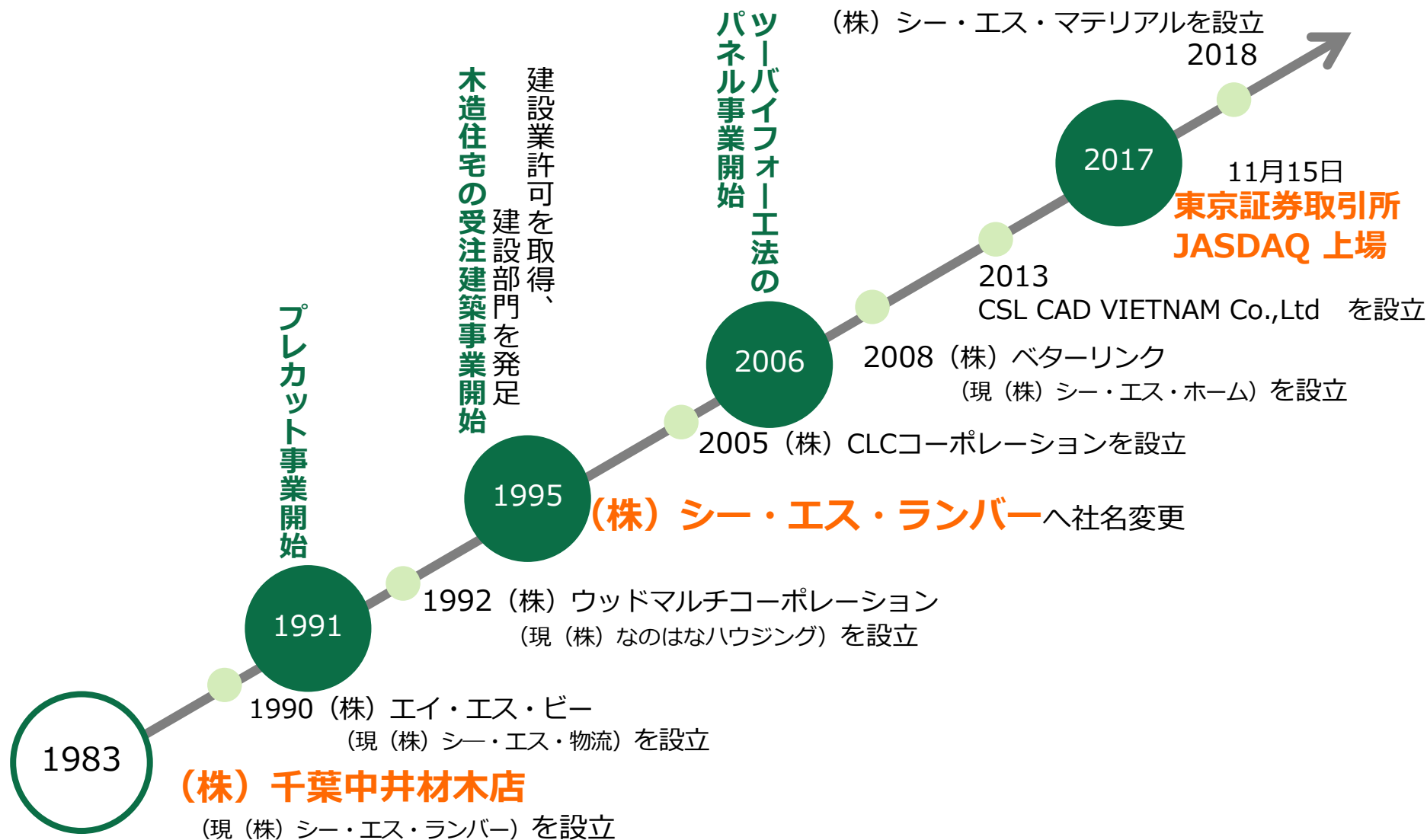
Customer Satisfaction through Lumber

木材を通じて顧客に満足戴ける取引に徹する

会社名	株式会社シー・エス・ランバー	 <p>幕張本郷 本社</p>
本社所在地	千葉県千葉市花見川区幕張本郷一丁目16番3号	
代表者	代表取締役社長 中井 千代助	
設立	1983年4月1日	
資本金	521百万円	
事業内容	<p>1:プレカット事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 在来軸組工法における設計、木材のプレカット加工及び販売 ● ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売 <p>2: 建築請負事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 木造住宅・大型木造施設の建築請負 <p>3: 不動産賃貸事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不動産賃貸・管理 <p>4: その他事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不動産の販売 	
従業員数	連結 335名 他、臨時従業員 87名	

(2019年11月末現在)

木材を熟知する材木店から、木造建築のトータルサービス企業へ



1. 当社の概要
2. 2020年5月期第2四半期決算概要
3. 2020年5月期業績予想
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. 参考資料

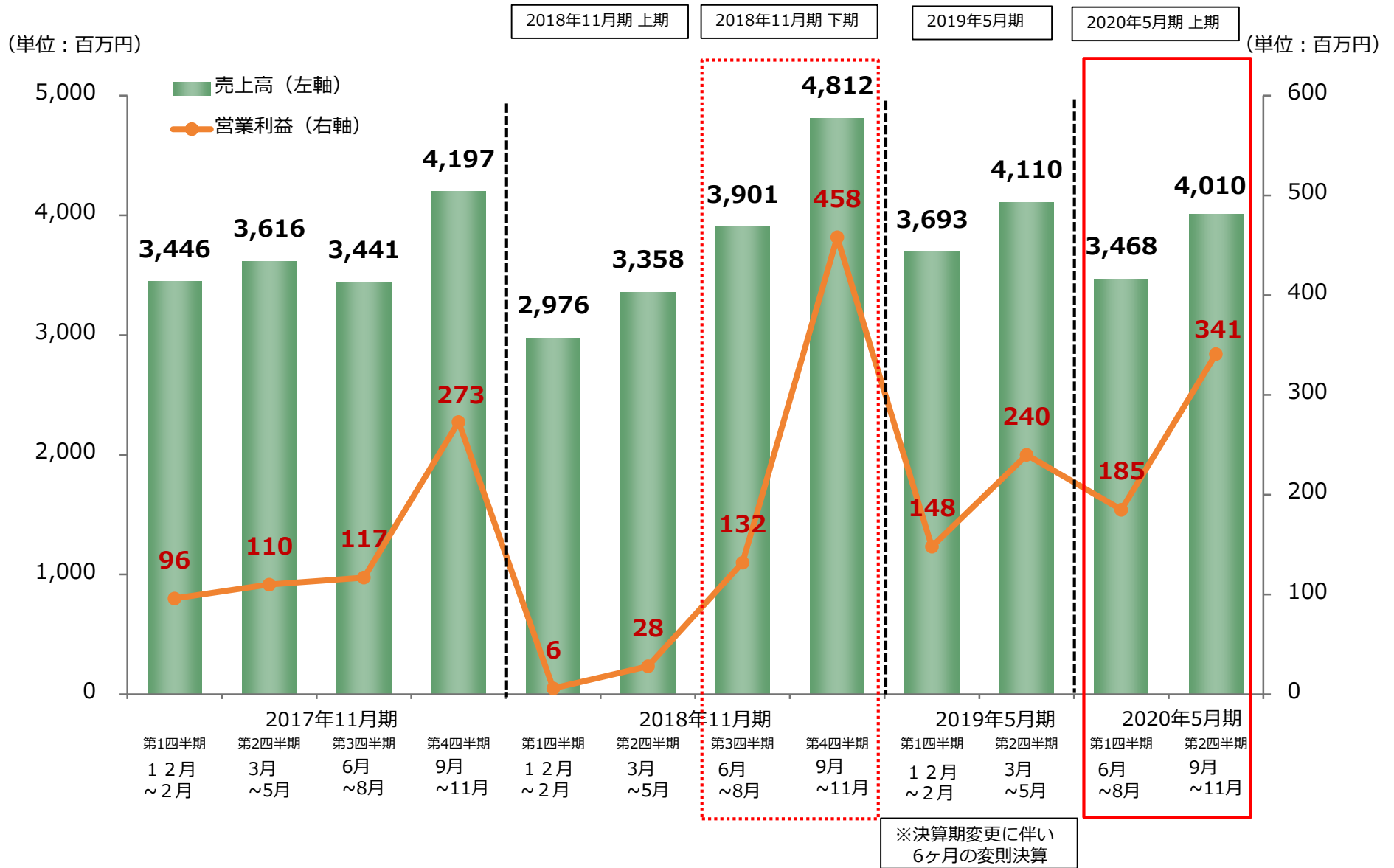
2020年5月期 第2四半期 決算概要



単位：百万円	前年同期間 (2018年6月～11月)		2020年5月期 第2四半期 (2019年6月～11月)				2020年5月期 通期 (2019年6月～2020年5月)	
	実績		実績		前年同期間比		当初発表予想 (2019/7/16)	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	進捗率
売上高	8,714	100.0%	7,478	100.0%	△ 1,236	△ 14.2%	16,200	46.2%
プレカット	6,546	75.1%	6,186	82.7%	△ 360	△ 5.5%		
建築請負費	2,326	26.7%	1,384	18.5%	△ 941	△ 40.5%		
不動産賃貸	240	2.8%	273	3.7%	33	13.8%		
その他	374	4.3%	99	1.3%	△ 275	△ 73.5%		
粗利	1,660	19.1%	1,597	21.4%	△ 63	△ 3.8%		
プレカット	1,142	13.1%	1,258	16.8%	116	10.2%		
建築請負	255	2.9%	106	1.4%	△ 149	△ 58.4%		
不動産賃貸	207	2.4%	221	3.0%	13	6.5%		
その他	51	0.6%	19	0.3%	△ 31	△ 62.2%		
販売費及び一般管理費	1,069	12.3%	1,069	14.3%	△ 0	△ 0.0%		
営業利益	590	6.8%	527	7.1%	△ 62	△ 10.7%	688	76.6%
プレカット	238	2.7%	335	4.5%	97	40.8%		
建築請負	112	1.3%	△ 42	△ 0.6%	△ 155	—		
不動産賃貸	176	2.0%	201	2.7%	25	14.2%		
その他	26	0.3%	7	0.1%	△ 19	△ 71.9%		
経常利益	556	6.4%	502	6.7%	△ 53	△ 9.6%	630	79.7%
親会社株主に 帰属する当期純利益	366	4.2%	297	4.0%	△ 69	△ 18.8%	384	77.3%

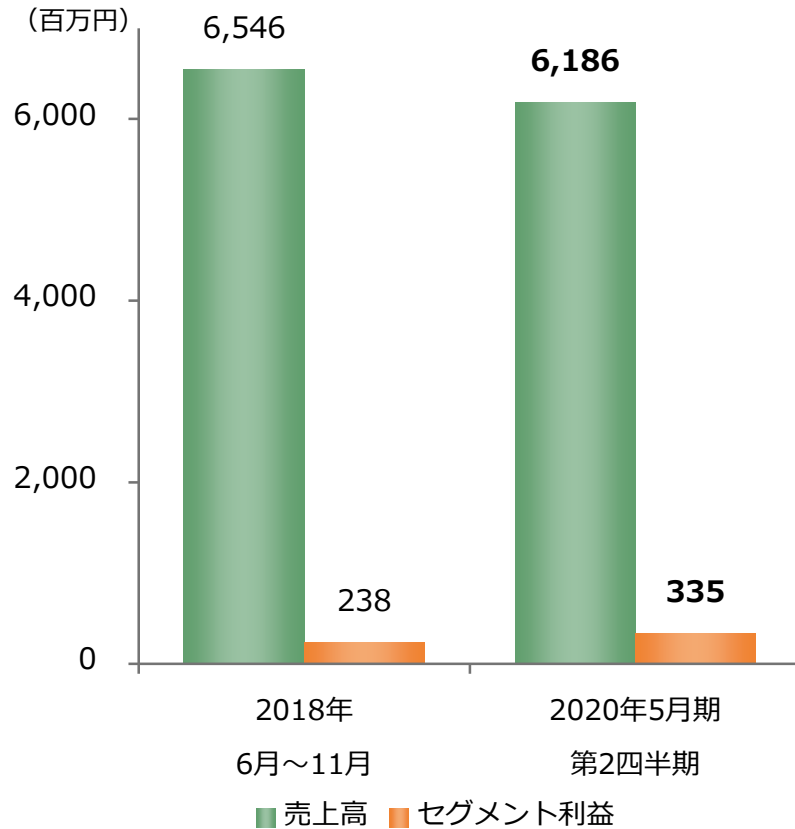
※2019年5月期は期間6ヶ月間の変則決算のため、2020年5月期第2四半期の前年同期間は、2018年11月期の第3・第4四半期（2018年6月～11月）となる。

2020年5月期 第2四半期 四半期業績推移



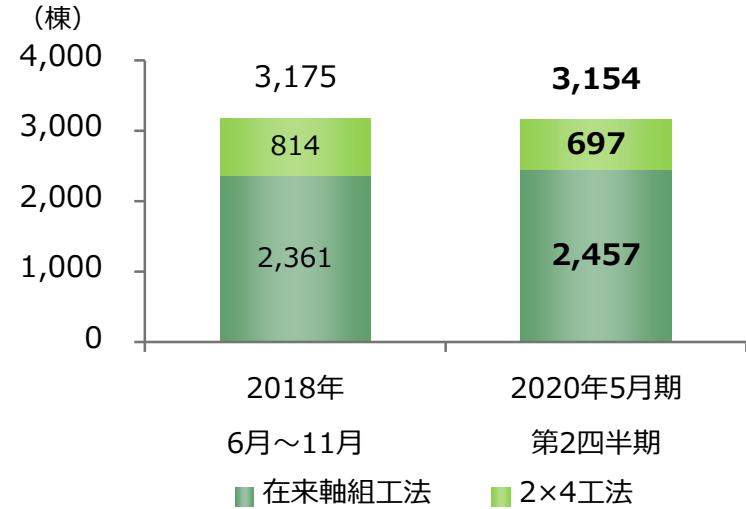


売上高・セグメント利益

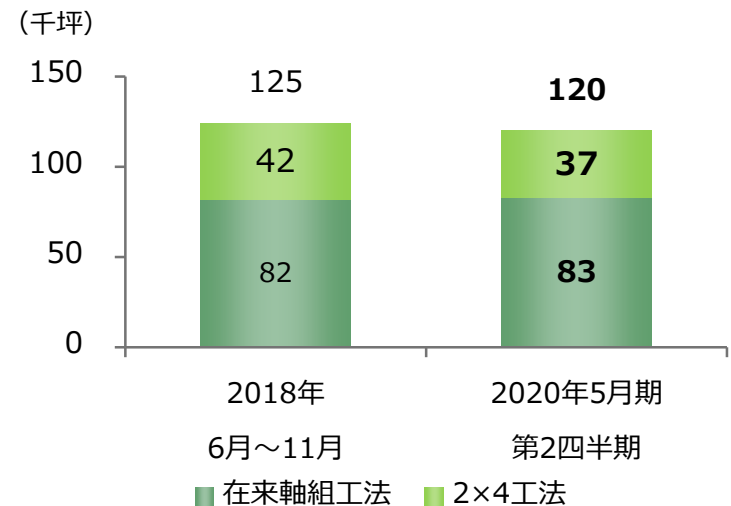


新規先開拓、工程上の無駄の排除、材料費削減、配送効率化努力などにより、減収ながらも増益となる。

出荷棟数

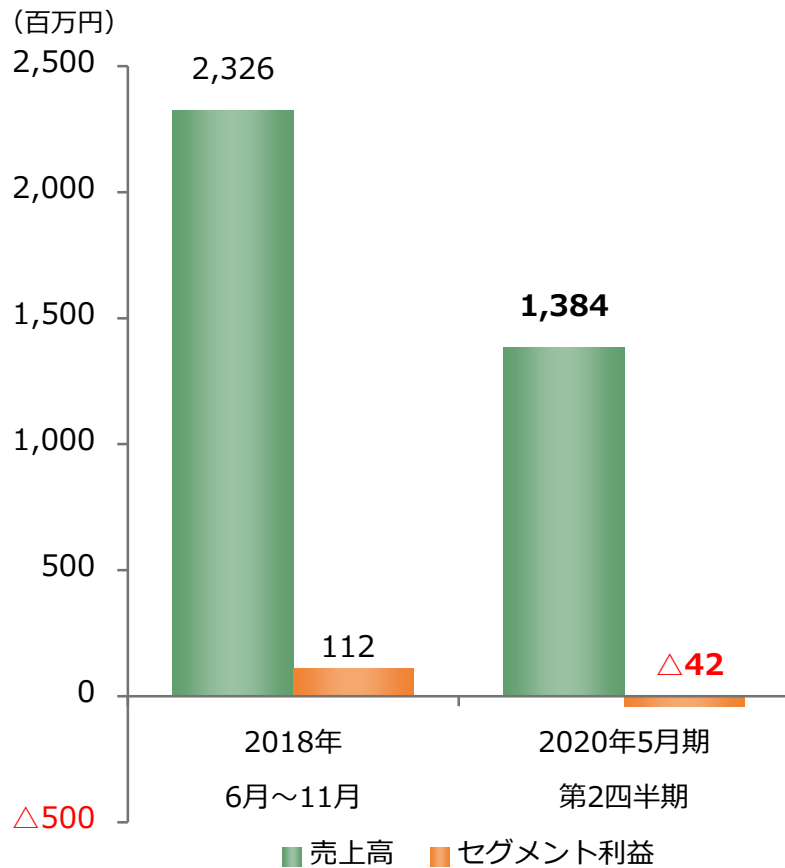


出荷坪数



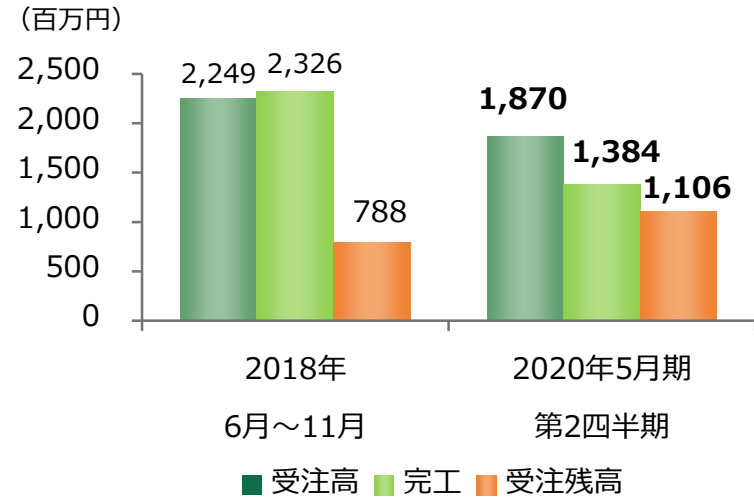


売上高・セグメント利益

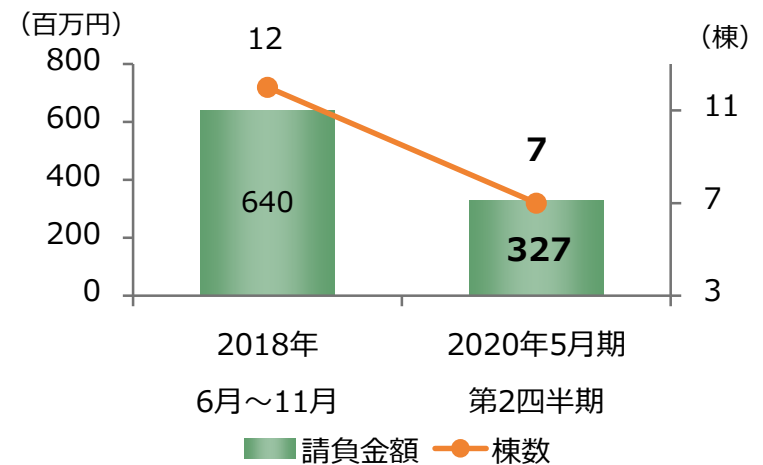


施工ミス発生などにより赤字。新マネジメント体制に着手し、改善に道筋。

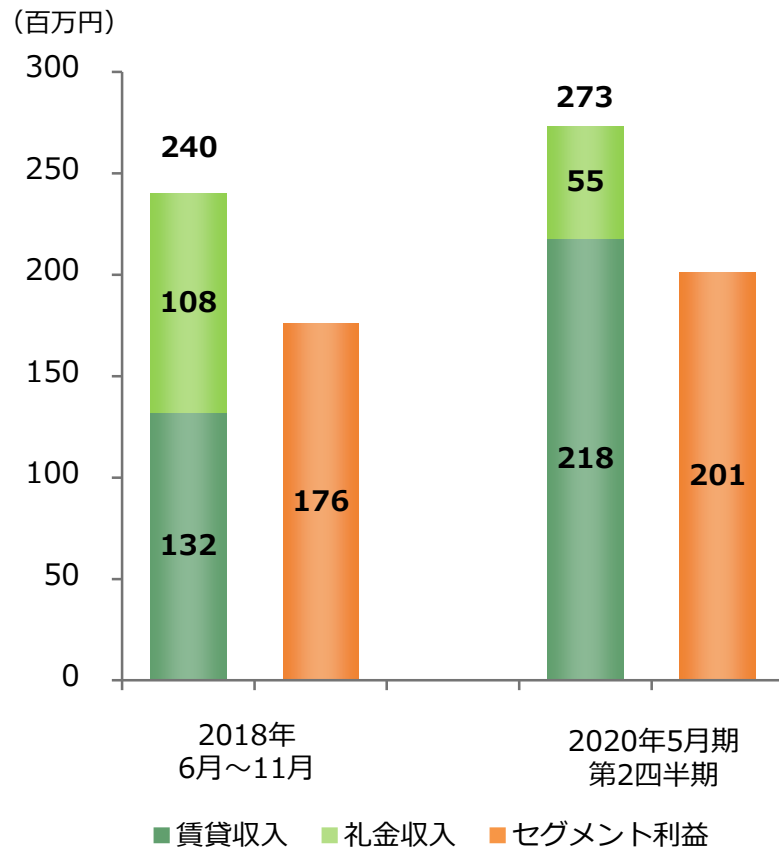
受注・完工・受注残



大型(50坪以上)木造住宅・施設

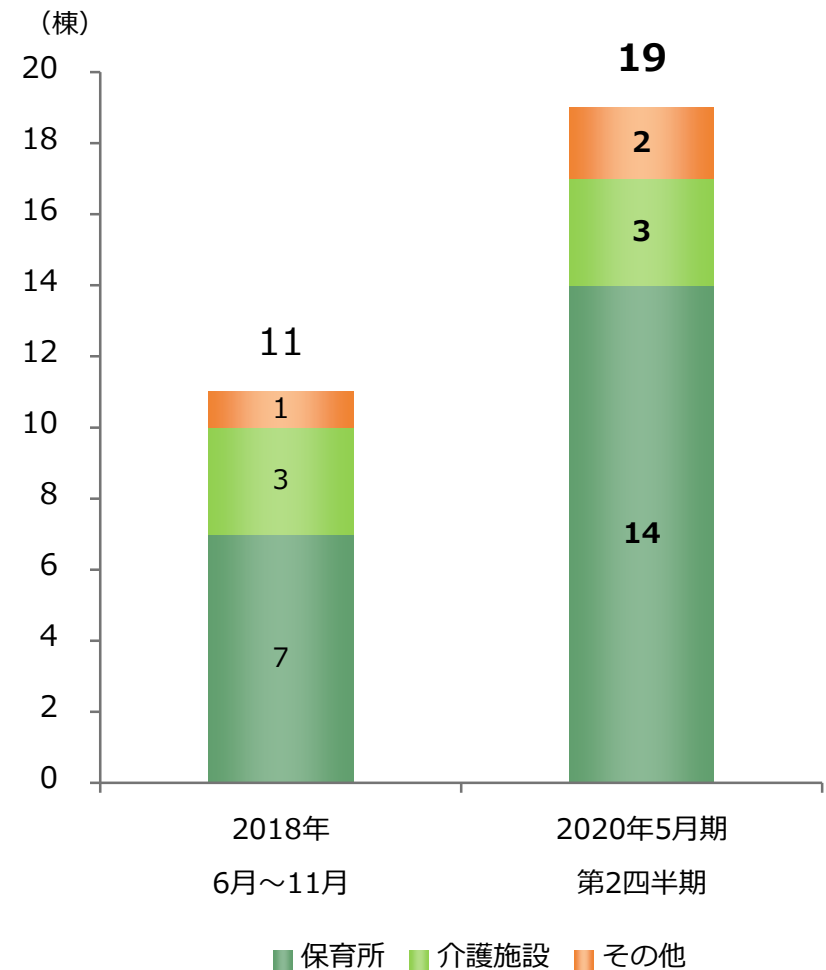


売上高・セグメント利益



売上高のうち礼金収入が前年同期108百万円、今期55百万円含まれており、純粋な貸賃収入は86百万円増加。

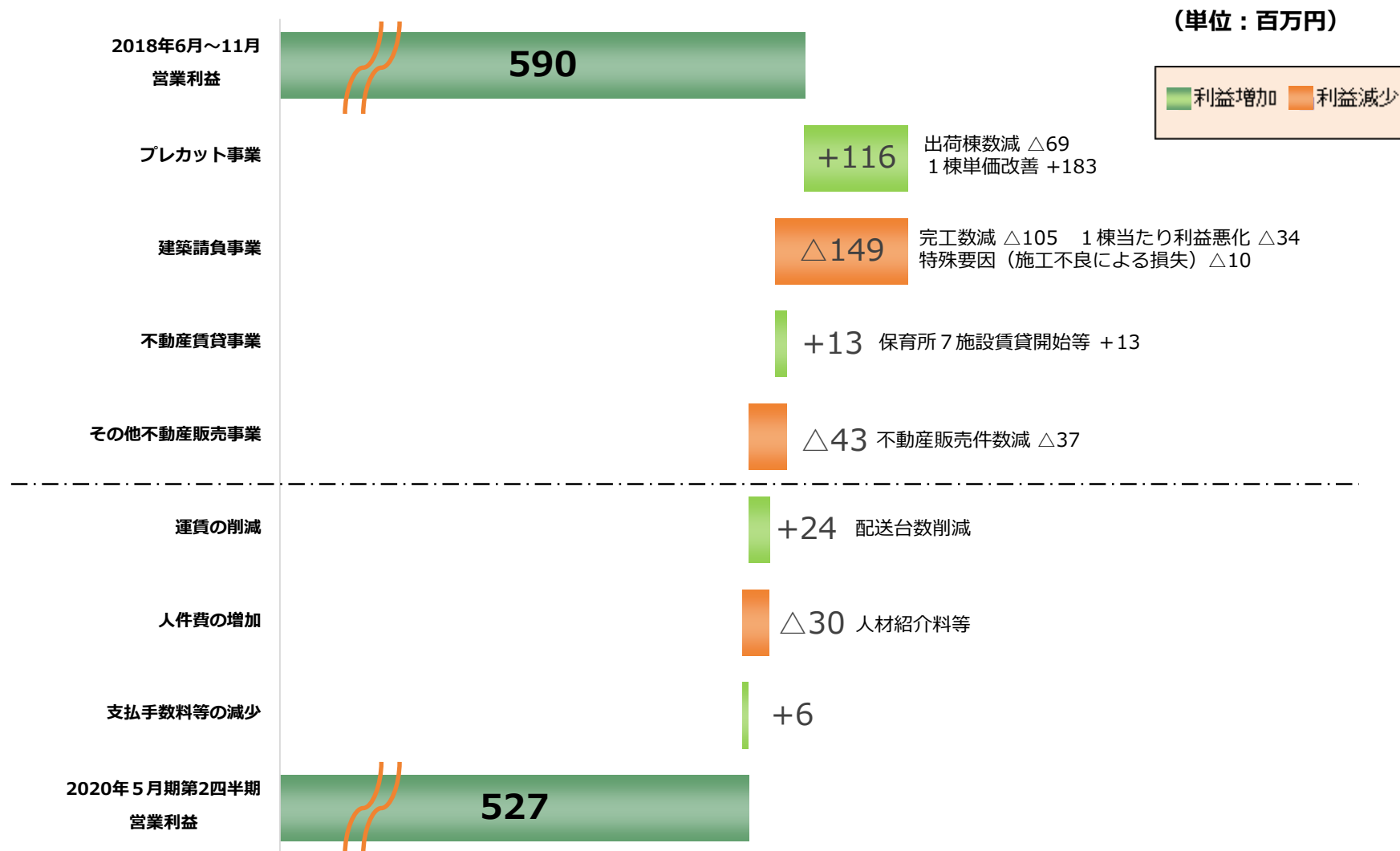
賃貸及び管理棟数



2020年5月期 第2四半期 営業利益の増減（前年同期間との差）



プレカット・不動産賃貸が伸長したものの、前年同期間に対しては減益



2020年5月期 第2四半期 貸借対照表



単位：百万円	2019年5月期末		2020年5月期第2四半期			
	実績		実績		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	5,382	40.0%	5,897	42.2%	514	9.6%
現金及び預金	1,748	13.0%	1,944	13.9%	195	11.2%
受取手形及び売掛金	2,370	17.6%	2,431	17.4%	61	2.6%
販売用不動産	411	3.1%	383	2.7%	△ 28	△ 6.8%
仕掛品	347	2.6%	523	3.7%	176	50.8%
原材料及び貯蔵品	333	2.5%	357	2.6%	24	7.3%
その他	170	1.3%	255	1.8%	85	50.4%
固定資産	8,072	60.0%	8,078	57.8%	6	0.1%
有形固定資産	7,444	55.3%	7,500	53.7%	56	0.8%
無形固定資産	166	1.2%	163	1.2%	△ 3	△ 2.1%
投資その他の資産	460	3.4%	414	3.0%	△ 46	△ 10.1%
資産合計	13,454	100.0%	13,975	100.0%	520	3.9%
流動負債	5,639	41.9%	6,009	43.0%	369	6.6%
支払手形及び買掛金	2,678	19.9%	2,846	20.4%	168	6.3%
短期借入金	1,459	10.8%	1,485	10.6%	26	1.8%
1年以内返済予定の長期借入金	317	2.4%	335	2.4%	18	5.7%
リース債務	190	1.4%	210	1.5%	19	10.2%
未払金	365	2.7%	566	4.1%	200	55.0%
その他	628	4.7%	565	4.0%	△ 63	△ 10.0%
固定負債	5,066	37.7%	4,948	35.4%	△ 118	△ 2.3%
長期借入金	3,986	29.6%	3,848	27.5%	△ 138	△ 3.5%
リース債務	634	4.7%	670	4.8%	35	5.7%
その他	445	3.3%	429	3.1%	△ 16	△ 3.6%
負債合計	10,706	79.6%	10,958	78.4%	251	2.3%
株主資本合計	2,676	19.9%	2,934	21.0%	257	9.6%
純資産合計	2,747	20.4%	3,017	21.6%	269	9.8%
負債純資産合計	13,454	100.0%	13,975	100.0%	520	3.9%

単位：百万円	前年同期間実績 (2018年6月～11月)	2020年5月期第2四半期実績 (2019年6月～11月)
営業活動によるキャッシュフロー	567	554
投資活動によるキャッシュフロー	△ 1,254	△ 100
財務活動によるキャッシュフロー	540	△ 257
現金及び現金同等物の増減額	△ 145	195
現金及び現金同等物の期首残高	1,567	1,714
現金及び現金同等物の期末残高	1,422	1,909

単位：百万円	前年同期間実績 (2018年6月～11月)	2020年5月期第2四半期実績 (2019年6月～11月)
設備投資	1,285	113
減価償却費	185	200

1. 当社の概要
2. 2020年5月期第2四半期決算概要
3. 2020年5月期業績予想
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. 参考資料

2020年5月期 業績予想 (2020年1月14日修正)



単位：百万円	2018年6月～2019年5月 特殊要因除く実績		2020年5月期第2四半期 実績		2020年5月期 通期 (2019年6月～2020年5月)修正予想			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	下期見込	対上期
売上高	15,818	100.0%	7,478	100.0%	15,190	100.0%	7,711	103.1%
プレカット	12,108	76.5%	6,186	82.7%	11,606	76.4%	5,419	87.6%
建築請負	4,118	26.0%	1,384	18.5%	3,478	22.9%	2,093	151.2%
不動産賃貸	407	2.6%	273	3.7%	543	3.6%	270	99.0%
その他	719	4.5%	99	1.3%	317	2.1%	218	219.6%
粗利益	2,886	18.2%	1,597	21.4%	3,059	20.1%	1,462	91.6%
プレカット	2,049	13.0%	1,258	16.8%	2,369	15.6%	1,110	88.2%
建築請負	409	2.6%	106	1.4%	307	2.0%	201	190.0%
不動産賃貸	333	2.1%	221	3.0%	381	2.5%	159	72.1%
その他	97	0.6%	19	0.3%	39	0.3%	20	105.5%
営業利益	661	4.2%	527	7.1%	920	6.1%	392	74.14
プレカット	223	1.4%	335	4.5%	523	3.4%	187	55.9%
建築請負	67	0.4%	△ 42	△ 0.6%	10	0.1%	52	-
不動産賃貸	280	1.8%	201	2.7%	340	2.2%	139	69.4%
その他	30	0.2%	7	0.1%	16	0.1%	8	114.1%
経常利益	600	3.8%	502	6.7%	870	5.7%	367	73.1%
親会社株主に 帰属する当期純利益	362	2.3%	297	4.0%	500	3.3%	202	67.9%

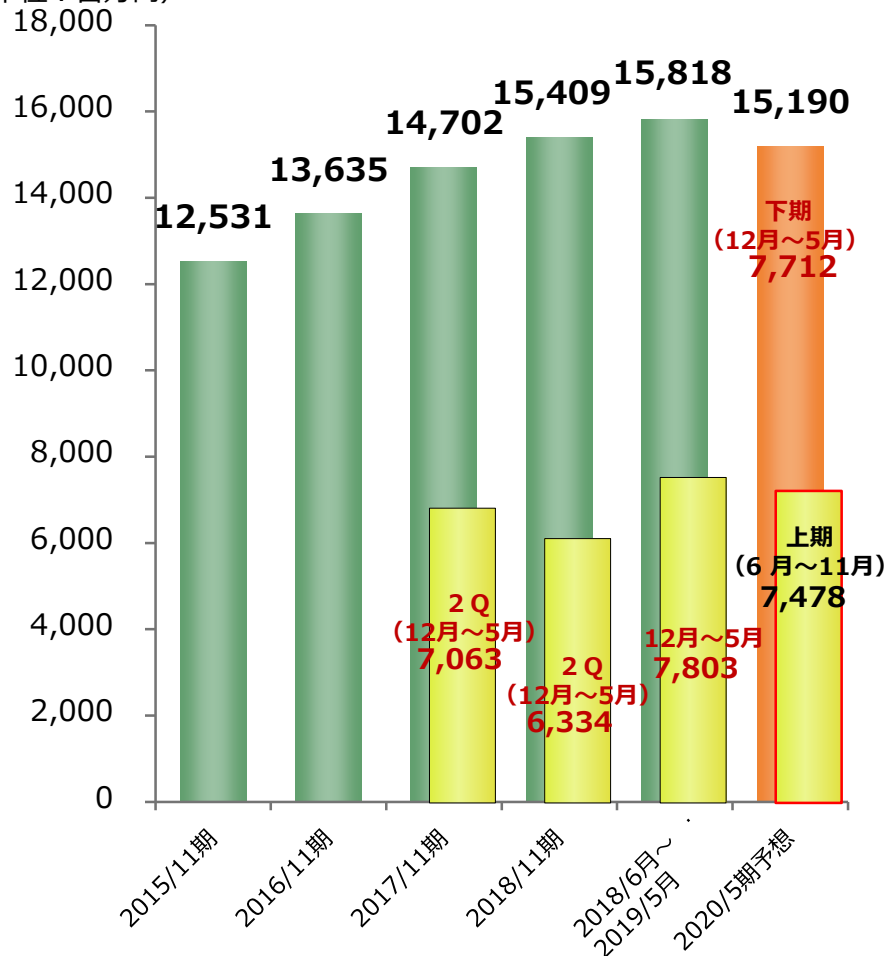
※前年同期間の特殊要因は消費税増税駆込み需要の効果であり、それを除いた値を記載。消費税増税駆込み需要の効果はどの程度あったかは、過去の売上実績、当社の営業施策等を勘案して当社グループにおいて独自に判断したものである。2019年5月期決算短信「1. 経営成績等の概況」にて説明している。

2020年5月期業績予想 業績推移



売上高

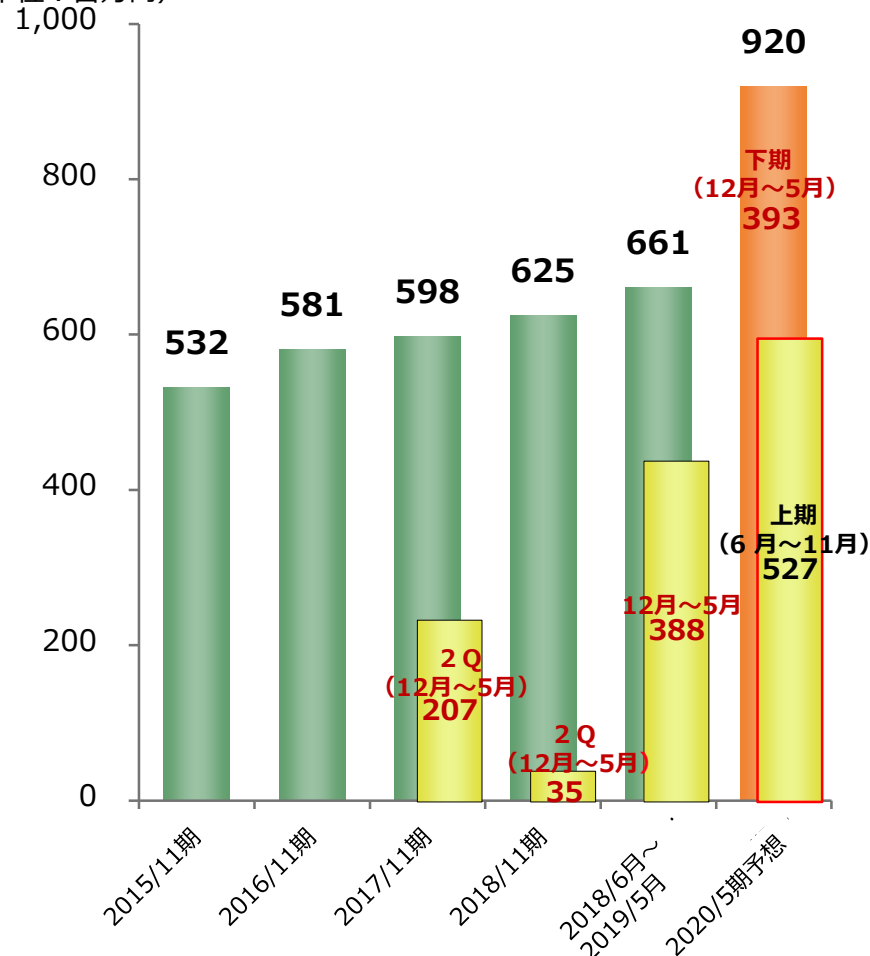
(単位：百万円)



■ 通期実績 ■ 2Q実績 ■ 通期業績予想

営業利益

(単位：百万円)



■ 通期実績 ■ 2Q実績 ■ 通期業績予想

※2018年6月～2019年5月は、特殊要因（消費税増税駆け込み需要効果）を除く値で読み替えを実施。

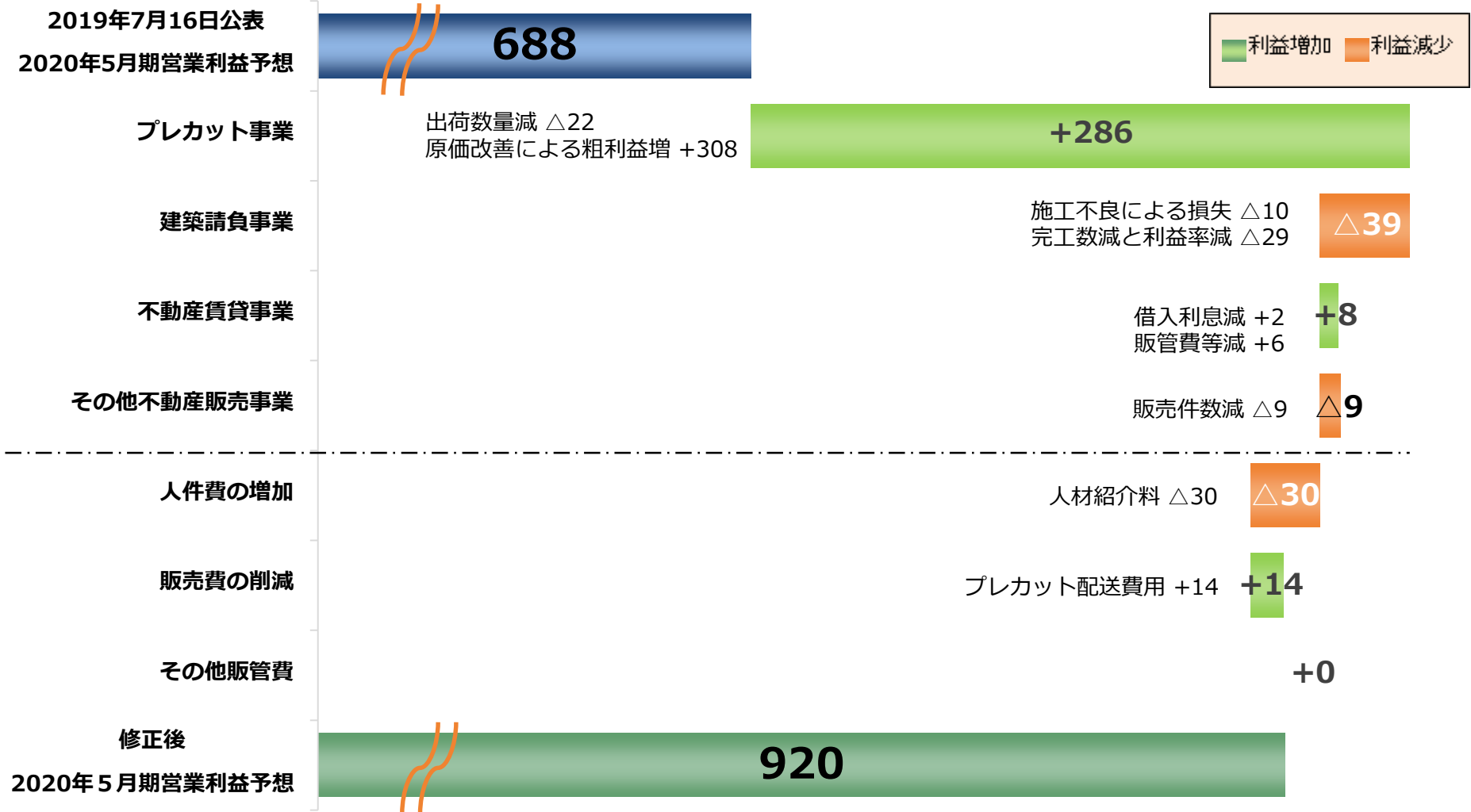
※決算期の変更に伴い、2020年5月期から第2四半期の期間が6月～11月となるもの。

2020年5月期業績予想 営業利益修正予想分析



主にプレカット事業が伸長し、営業利益の上方修正を見込む

(単位：百万円)

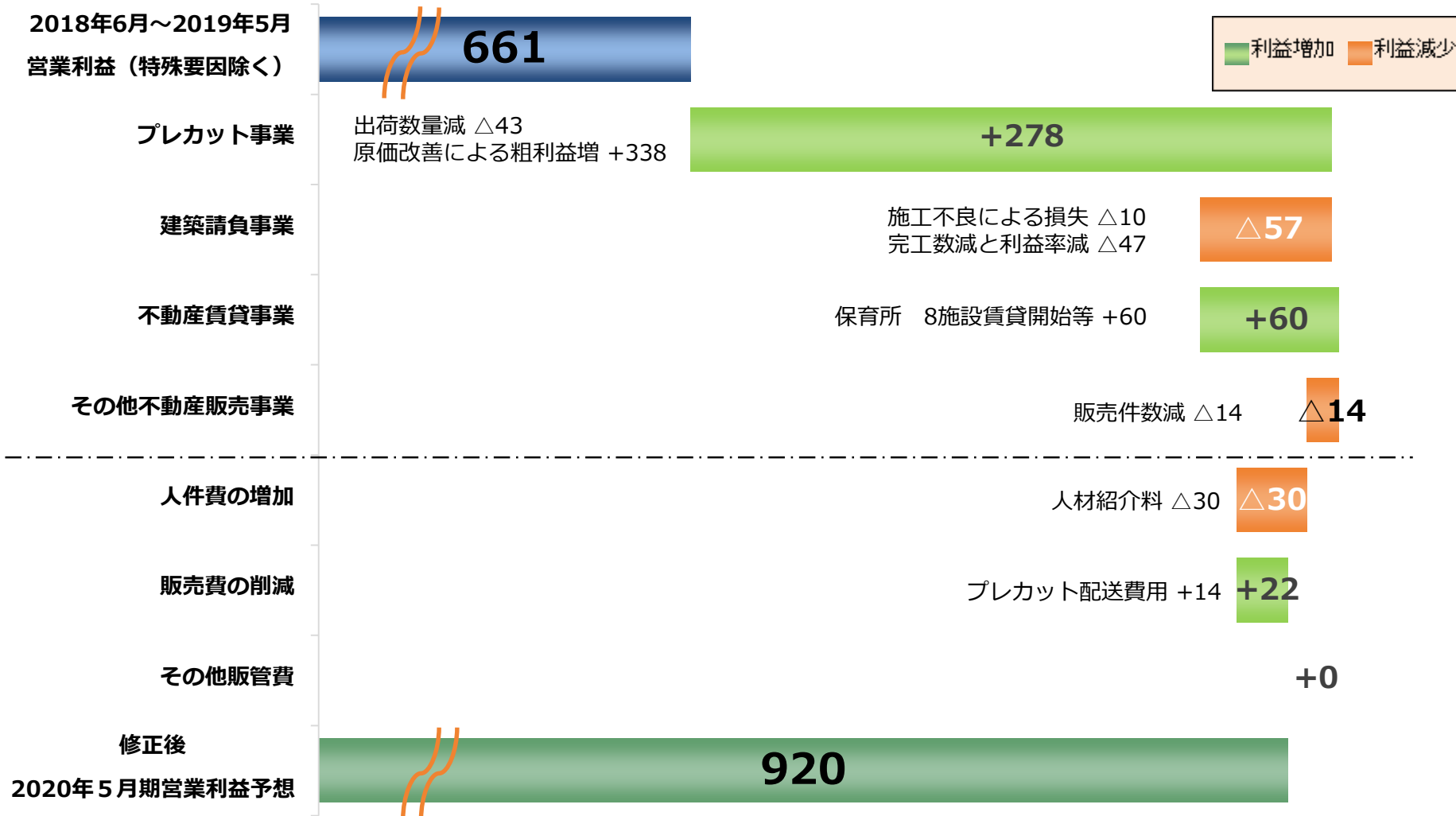


2020年5月期業績予想 営業利益予想分析（前期比）



プレカット・不動産賃貸が伸長し、前年同期間に対して増益

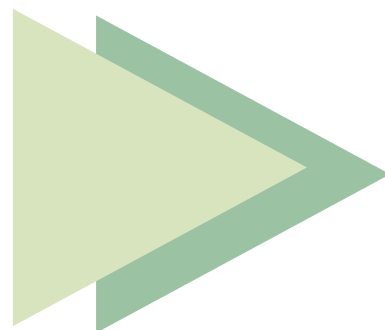
（単位：百万円）



配当政策の基本方針

将来の事業展開と
経営体質強化に必要な
内部留保の確保

継続性・安定性
(配当性向20%を目安)



経営成績に応じた
配当の実施

配当金額

2018年11月期（12ヶ月決算） 1株当たり年間配当金	: 40円（中間：0円 期末40円）
2019年 5月期（6ヶ月決算） 1株当たり年間配当金	: 22円（期末22円）
2020年 5月期（12ヶ月決算） 1株当たり年間配当金予想	: 42円⇒ 50円 （中間：0円 期末50円）

1. 当社の概要
2. 2020年5月期第2四半期決算概要
3. 2020年5月期業績予想
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. 参考資料

ATAハイブリッドトラス構法



これまで鉄骨造り、鉄筋コンクリート造りなどが主流だった大型の施設が、木造でも建築可能になっています。

当社は「ATAハイブリッドトラス構法」のプレカットと建築に参入しました。

写真は当社グループ所有地に株式会社シー・エス・ホームが建てた試作品、展示品です。

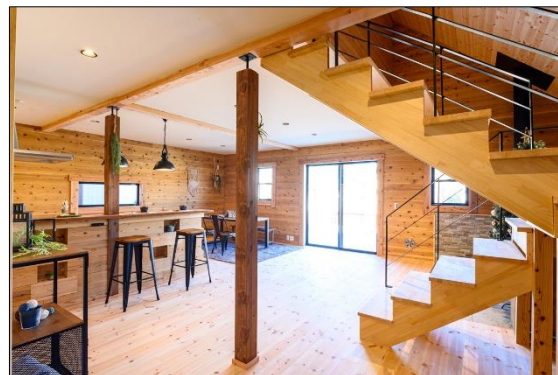
こうして日々技術と経験を磨いています。

木材で造る建築物は、ぬくもり、調湿効果、木の成分による森林浴効果をもたらすばかりでなく、地球環境の負荷軽減にも欠かせないものになっています。

倉庫などの保管機能や工場内作業の快適性を向上させます。

現在数件の受注案件に取り掛かっています。

千葉県で現在販売中のログハウス



温暖化と異常気象から脱し、地球と生物の健康を守るためにも、木にこだわり続けています。

ログハウスに対するチャレンジは、大きく分けて3つあります。

①プレカット

需要が少ないからという理由で、日本のプレカットメーカーはほとんど参入していません。

プレカット大手であるからこそ、需要は創造するものと考え参入しました。

良質な壁や床を作ります。

②建築請負と不動産販売

住宅分譲地の中で、ログハウスは、街になじみながらも差別化が図れ、街がとってもおしゃれになります。

ならばその家に住みたい！、このような需要を創り出します。

③メンテナンスフリー

ログハウスの弱点は、定期的なペンキ塗りが必要なことかと思えます。

こまめなペンキ塗りを楽しむ方向けでありまして、大半の方にはちょっと…。

この壁を乗り越えるべく、メンテナンスフリーの研究を続けています。

工場生産と建築現場



プレカットにおけるコスト競争力の更なる追求



(左上・中上)
トラックで出荷するところです。
運送費用は1台あたりいくらかと決まっていますので、まとめて運ぶと実に経済的です。

(右上)
ベトナムのCADセンターです。
ベトナム人スタッフが、日本語の設計図を読み込んで、日本の建築を支えます。



(中・下)
シー・エス・マテリアル工場は、木材を無駄にせず、最後まで使うことを使命としています。

1. 当社の概要
2. 2020年5月期第2四半期決算概要
3. 2020年5月期業績予想
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. 参考資料

①プレカット事業

海外で職人を育成し建て方人員について100名を越える体制を構築
職人不足が進む中で、プレカット販売の有力なオプションとなるように整備

大型木造建築へ参入
一般流通材で最大スパン「40m」の無柱空間を実現できるATAハイブリッド構法の加工・プレカット
大型木造建築のメリットが認知され需要拡大が見込まれる中で対応可能な体制構築

新規取引先の開拓強化
新規取引先開拓と既存顧客対応を行う営業スタッフを分け目標と責任を明確化する事で、住宅市場が縮小する中でシェアを拡大

ログハウスの加工について機械の購入に伴い、100%内製化を実施
住宅地でも景観に溶け込む事が出来る角ログを中心に
2019年後半より月20~25棟の加工が出来るように体制を整備

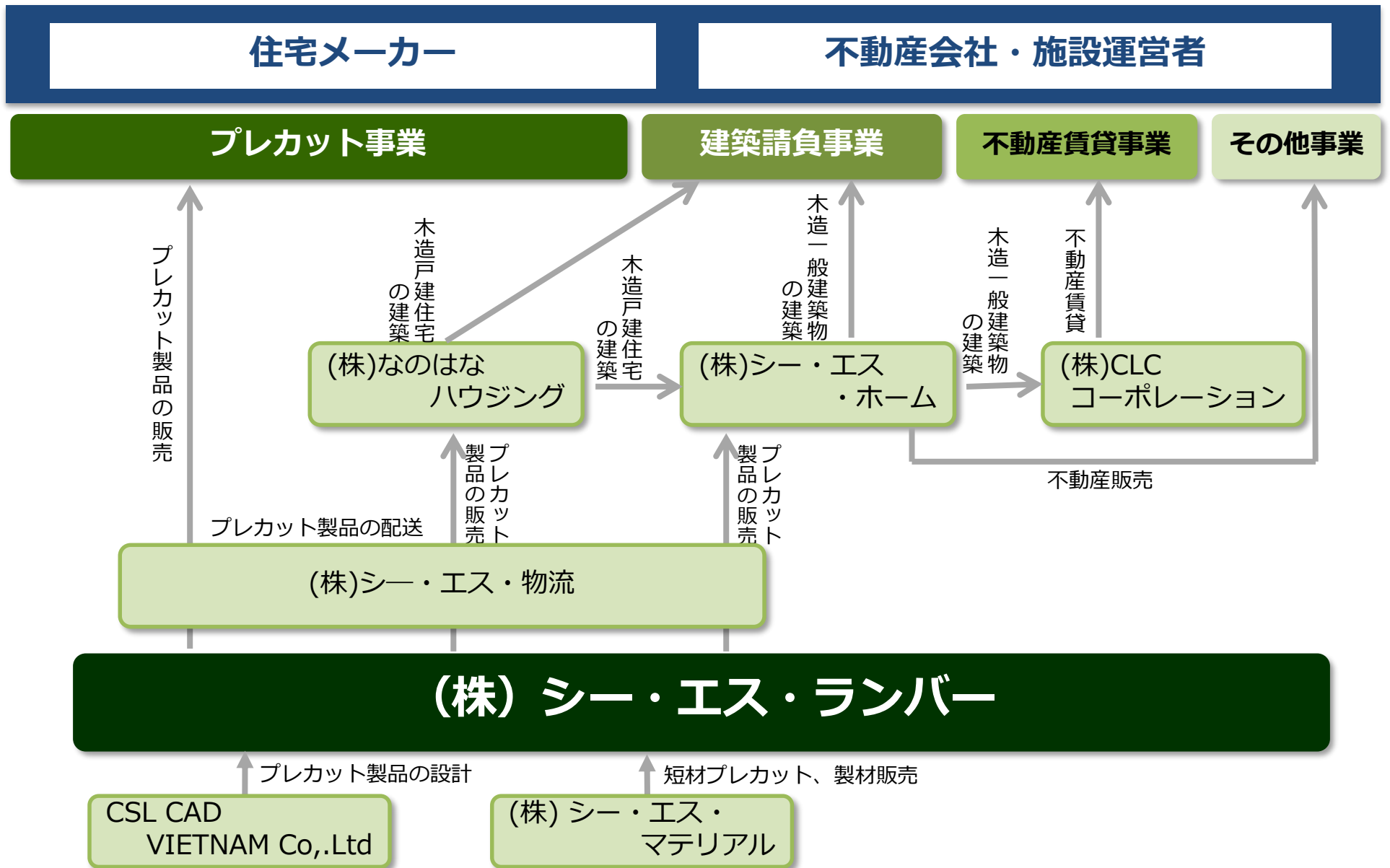
物流の効率化
一日2便/台配送している運用を業務体制の見直しにより月600台から1,000台に拡大し、コスト面でもプレカット収益に貢献

<p>②建築請負</p>	<p>ログハウスと大型建築受注についてプレカットとのシナジー効果によるグループの利益向上</p> <p>保育園建築の実績を評価頂いている保育園運営会社等からの紹介などから他社の新規保育園計画からも建設請負受注</p> <p>住宅着工件数が落ち込む中で、リフォームニーズは高まる事が想定されるので、リフォームの請負体制整備</p>
<p>③不動産賃貸事業</p>	<p>東京都の待機児童数についてピークを越えたものの、幼児教育・保育無償化が開始されることにより新規建設ニーズは依然強く、既存で確定している15棟から30棟に拡大</p>
<p>④その他事業</p>	<p>おがくず販売の内製化を達成し、自社以外のおがくずについても回収・販売対応を行う事でリサイクルを促進するとともに売上にも貢献</p> <p>おがくず同様に端材についても、バイオマス用チップとして販売</p>

⑤人財開発等

グループ各社と親和性の高い良い案件があれば積極的にM&Aによる事業拡大を進めていく。
そこで重要になるのが、会社の改革とCSLのカルチャーを浸透させる事ができる人財の採用と育成となるため、採用の多様化と機動的な人員配置、教育体制の構築をフェーズ1で対応

報酬制度を含む人事制度改革によりガバナンス強化とROAの改善



事業概要 (1) プレカット事業①



在来軸組工法における設計 (CAD)、木材のプレカット加工及び販売
ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売

「木造建築の主要2工法に対応」した加工・販売

在来軸組工法 (山武工場)

日本で最も主流の工法
基礎の上に木の土台を据えて、柱と柱を梁で水平につぎ、
対角線を筋交いで補触する

ISO9001 : 2015認定
登録証番号 : JQA-QM8720
登録活動範囲 :
木造住宅用プレカット材の
設計、製造



(財) 日本住宅・木材技術センター認定
木質建材製造工場
品質管理優良工場



ツーバイフォー工法 (東金工場)

枠状に組み立てられたツーバイ材に構造用合板を打ち付けた壁や
床 (面材) で支える「枠組み」構造
隙間が大変少なく、気密性・防音性に優れている

JAS認定工場 (全国木材検査・研究協会)

認定番号 : JLIRA-A-016

認定品目 :

枠組壁工法構造用製材

認定区分 :

人工乾燥枠組壁工法構造用製材



北欧などからの製品輸入が中心のログハウスプレカット事業に参入



カントリーテイストのある木造家屋が都市部住宅街にも建ち始めている傾向を捉え、ログハウスメーカーとタイアップしてプレカットを開始
在来軸組工法、ツーバイフォー工法の技術も必要とされており、親和性大

プレカット事業を軸に、建築請負事業も展開している

ATAハイブリッドトラス構法のプレカット事業に参入

「無柱大空間を可能にした非住宅・中大規模木造トラス構法」を生んだ株式会社ATA（アタ社）の提携プレカット工場となる

商業・工場・スポーツ施設など建物用途は多岐多様、時代の流れは鉄骨から木造へ



事業概要 (2) 建築請負事業



木造戸建住宅・木造一般建築物の建築（大型木造施設等）の建築請負

当社のプレカット製品を仕入れて、
木造住宅・保育所等の大型木造施設を合わせ
年間約200棟を施工



茂原市介護施設

- ・構造：木造2階建
- ・延床：996.26㎡
- ・居室数：23室



なのはなモデルハウスA棟

事業概要 (3) 不動産賃貸事業



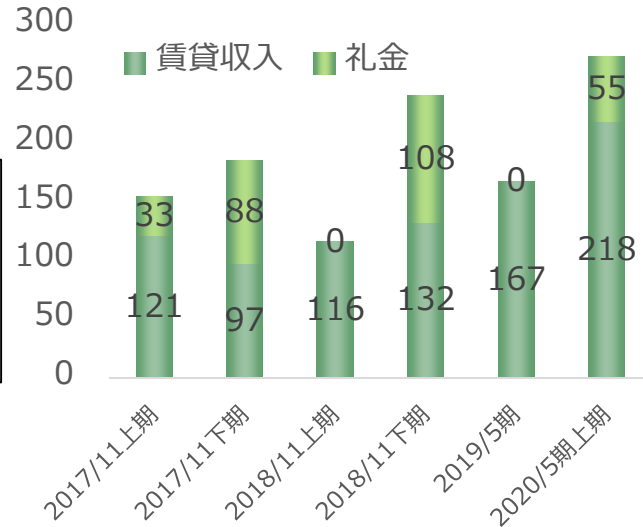
長期安定契約を基本方針とした不動産賃貸及び管理



保育所 (大田区)

- ・ 構造：鉄筋コンクリート造り3階建
- ・ 土地：330.57㎡
- ・ 延床：665.56㎡
- ・ 定員数：72名
- ・ 契約期間：2017.10.1 ~ 2038.3.31

(単位：百万円) 賃貸収入の推移



2017年に賃貸物件の一部を売却したため、2017年下期において賃貸収入が減少



保育所 (文京区)

- ・ 構造：重量鉄骨造り3階建
- ・ 土地：128.33㎡
- ・ 延床：274.43㎡
- ・ 定員数：45名
- ・ 契約期間：2017.10.1 ~ 2038.3.31



介護施設 (千葉市)

- ・ 構造：木造2階建
- ・ 土地：3513.64㎡
- ・ 延床：2942.40㎡
- ・ 室数：26室
- ・ 契約期間：2007.2.1 ~ 2025.3.31

付加価値を創造する木造建築のトータルサービス

- 材木店経営で培った木材（業界）に関する豊富な知識を活かし、木材の仕入れから加工、建築、賃貸・販売までグループ内で行うことで、付加価値を創造

プレカット事業 歩留まり（端材の削減）の追求力



木材の仕入れ



加工



配送

- 木材の豊富な知識を活かした仕入力、提案力
- 木造建築の主要2工法へ対応した安定力
- コスト競争力(歩留まり追求力)、供給力、高品質
- 首都圏特化による現場対応力、効率性
- 強い顧客基盤

建築請負事業



建築

不動産賃貸事業



賃貸・管理

その他事業（不動産の販売）



住宅用地の販売



住宅販売

当社の強み（2）プレカット事業（在来軸組工法 山武工場）



ピッキングシステムと新式プレカット加工ラインの導入により、**高い歩留まり・生産性を実現**

ピッキングシステム（邸別ピッキング用自動倉庫）

更なる「歩留まり追求」を目的に導入

⇒ **歩留まりが約10%向上**

- ・コンピュータ制御による在庫管理技術の向上に伴い、必要な木材のより適切な仕入れが可能となり、**材料費を削減**
- ・材料の木材の入庫、出庫の自動化により、**生産性も向上**



新式プレカット加工ライン



- ・加工能力向上に加え、従来難しかった複雑な加工も可能になり機械化率が上昇し、**生産性も向上**
- ・製品の**品質安定化**にも貢献

全部位 (壁・床・屋根) のパネルを加工し、現場に配送

- ・ 建築現場における工数が大幅に削減される他、高度技術者も不要となり、**付加価値の高い製品**を提供



壁パネル



床パネル



屋根パネル

大量かつ安定供給が可能な東金工場

- ・ **広大な敷地 (62,467㎡)** の東金工場に設備を集約し、**パネルの大量生産・保管、安定供給体制**を確保
- ・ 東金インターから約10分の好立地で、**効率化された自社配送**

機械化が進んだ生産ライン

- ・ 在来軸組工法で培ったノウハウを活かし、**機械化を推進**
複雑な形状の加工においても機械化を進め、高品質、高い生産性を確保



マルチカットライン
(木材のカット)



マルチカット製品



パネルシージングライン
(自動釘打ちマシン)

ベトナム子会社でのCAD設計

標準的な建物の設計を行い、**コスト低減**

- クロス (直切り) カットライン 2ライン
- マルチカットライン 2ライン
- パネルシージングライン 2ライン

当社の強み (4) プレカット事業 (首都圏に特化)

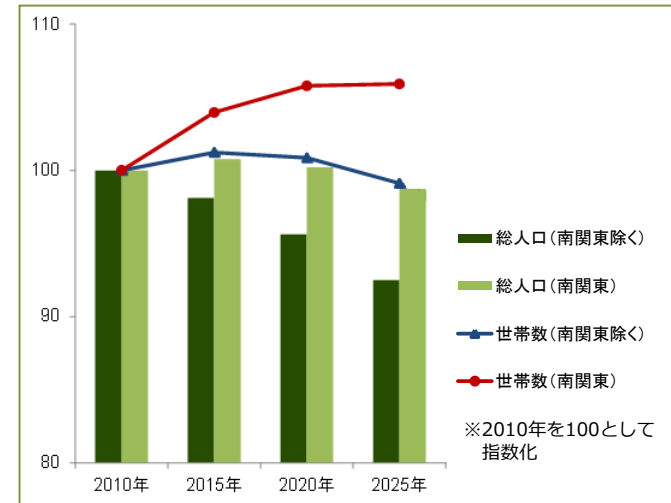


人口が集中する首都圏(1都4県)に絞った生産・営業拠点



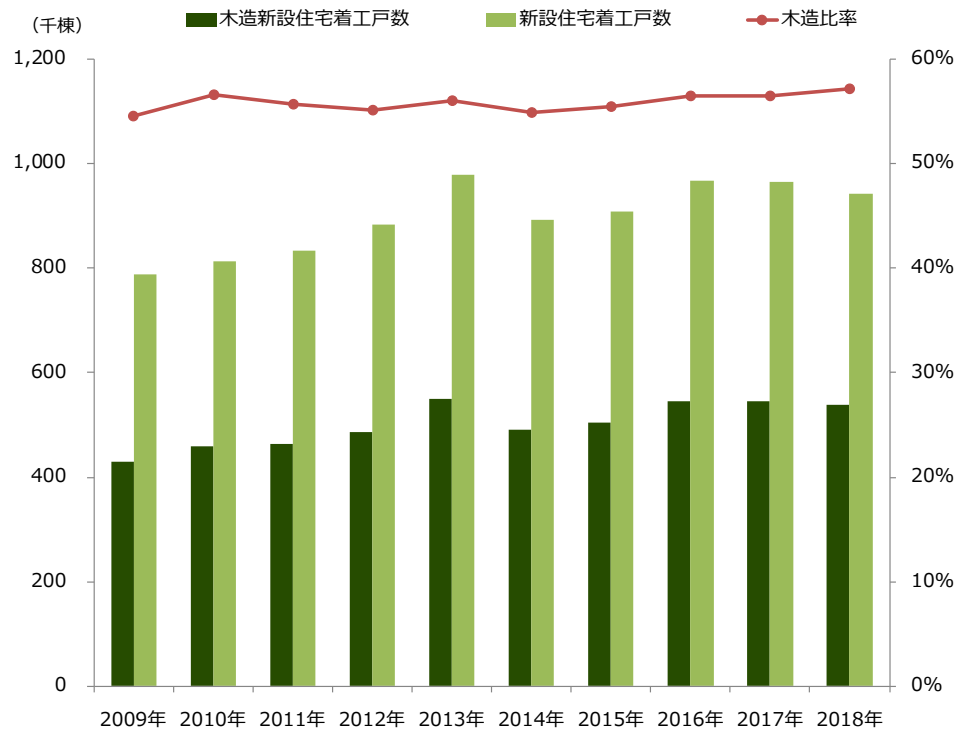
展開エリアを絞ることにより

- ・お客様のニーズへの迅速な対応 (企画・設計・アフターサービス)
 - ・営業効率
 - ・配送効率
- 生産性向上による
コスト競争力



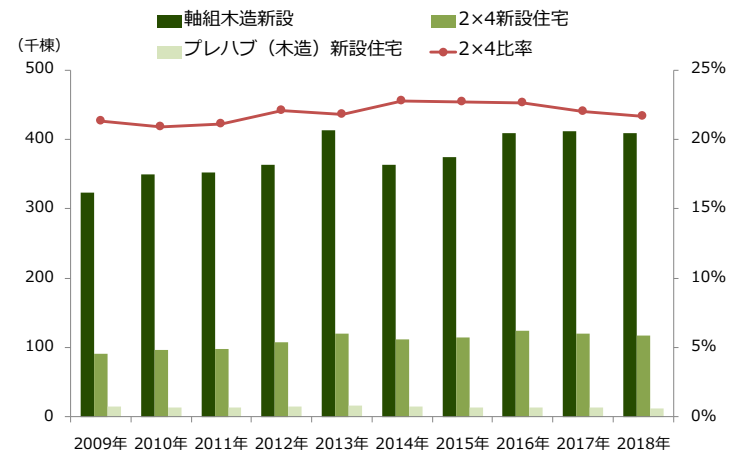
出所：国立社会保障・人口問題研究所「全国人口将来推計」より当社作成

新設住宅着工戸数に占める木造新設住宅着工戸数の割合



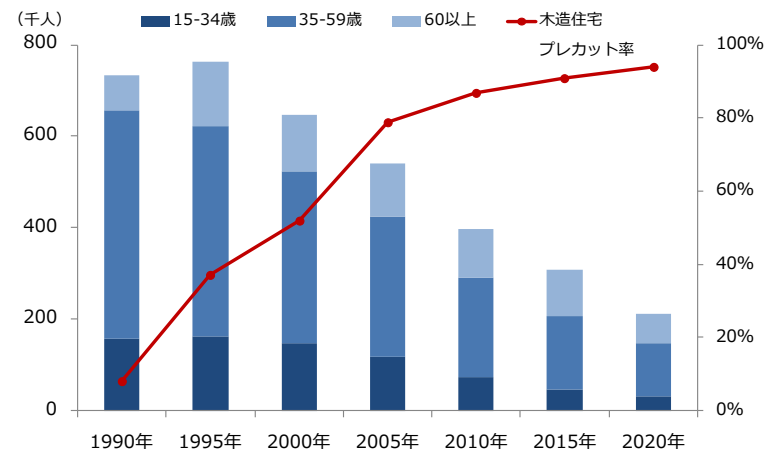
出所：国土交通省総合政策局情報管理部建設調査統計課資料より当社作成

工法別木造新設住宅着工戸数とツーバイフォー比率



出所：国土交通省総合政策局情報管理部建設調査統計課資料より当社作成

年齢別大工就業者数と軸組木造住宅のプレカット率

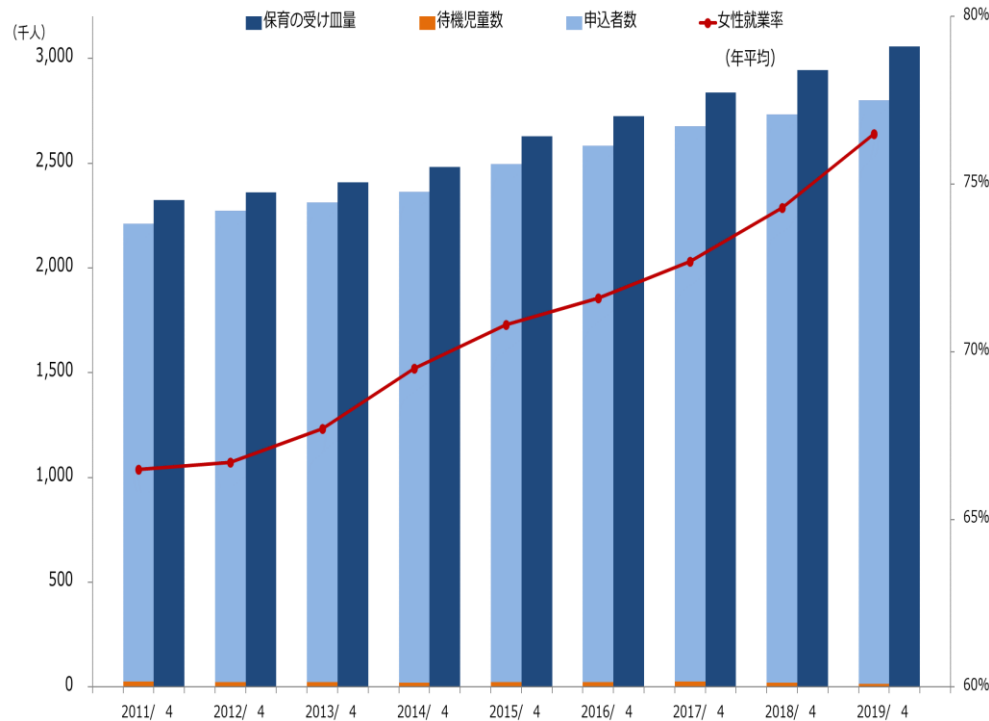


出所：総務省「国勢調査」、一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会、住環境価値向上事業協同組合「大工の育成と雇用形態 平成25年度」一般社団法人 木を活かす建築推進協議会より当社作成

待機児童数の状況

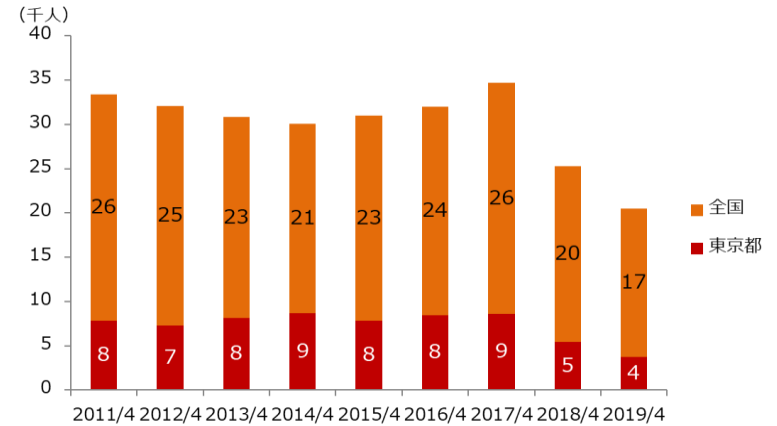


女性就業率、保育所受け皿量、待機児童数の推移



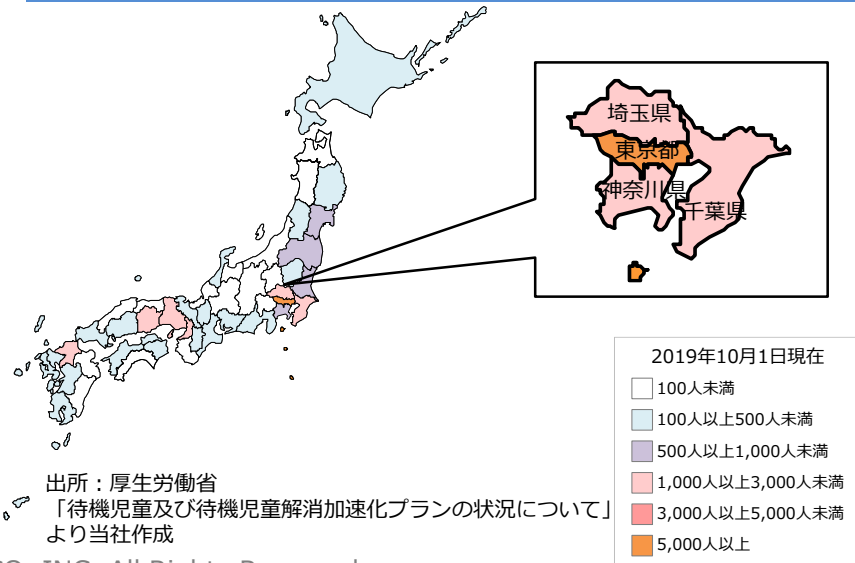
出所：厚生労働省「待機児童及び待機児童解消加速化プランの状況について」より当社作成

全国待機児童数に占める東京都の割合



出所：都福祉保健局公表資料「保育サービス利用状況等について」より当社作成

地域別待機児童数の状況



木材資源の有効活用による環境保全活動を中心に推進

環境 (Environment)

木材資源に関する3R活動を推進

- ① **Reduce (削減)** :
木材をプレカット加工する際に発生する端材の量を削減
例) ムダな端材が発生しないような寸法の木材を調達
- ② **Reuse (再利用)** :
端材を別の製品の材料として再利用
例) 構造材や端柄材の加工の際に発生した端材を短材プレカットの材料として利用
- ③ **Recycle (再資源化)** :
端材を再生資源として再利用
例) プレカット製品の材料として再利用することができない端材を製紙用、バイオマス燃料用のウッドチップとして加工

木材のグリーン調達

- ・ 合法木材供給事業者認定取得 (東金工場、山武工場)

木材は、二酸化炭素 (CO₂) を固定化させるため、木造住宅のプレカット製品の製造やその他の木材資源の有効活用を通じて、**CO₂排出量削減などの環境保全に貢献**

社会 (Social)

製品・サービスの品質保証の推進

- ・ ISO9001の取得
(「木材住宅プレカット材の設計、製造」など)
- ・ JAS認定工場 (東金工場)
- ・ 優良木質建材等認証 (AQ認証)
(山武工場、シー・エス・マテリアル)

少子化・待機児童対策への貢献

- ・ 保育所の賃貸事業を都内を中心に積極的に展開、施設数も年々増加

企業統治 (Governance)

社内での啓蒙活動の推進

- ・ コンプライアンス教育の実施
- ・ 内部通報制度
(コンプライアンス・ヘルプラインの設置)

株式会社シー・エス・ランバー

【お問い合わせ先】

株式会社シー・エス・ランバー

取締役 管理本部長 鈴木 正裕

TEL 043-213-8810

FAX 043-213-8819

URL <https://www.c-s-lumber.co.jp>

<ご案内>

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご利用者自身の判断において行われるようお願い申し上げます。

なお、いかなる目的であれ、本資料を当社の許可なく複写複製等を行わないようお願い申し上げます。